

信仰奨励章について

日本連盟プログラム委員会

1. 信仰奨励章設置の願い

日本連盟教育規定の一般原則には「本連盟は、加盟員がそれぞれの明確な信仰を持つことを奨励する」とされ、これにもとづき宗教章が設定されています。

現在、宗教章への取り組みは、教宗派を育成団体とする団に所属するスカウトや、富士章取得を目指すベンチャースカウトなど一部のスカウトに限られているようです。

また、教育規定に示されている「明確な信仰を持つ」ことの意味は、自分の信ずる宗教を明確にするともとれ、このような意味を本来とするならば、すべてのスカウトが宗教章に挑戦することが望ましいように思われます。

そのためには、宗教章に挑戦するための土台がしっかりとしなければなりません。その土台とは、「自分ひとりで生きているのではなく、生かされている自分」という心をつちかう必要があります。

この心の意味とは、明確に信ずる神や仏は特定していませんが、神仏の存在もしくは目には見えない創造主の存在を信じ、この世界は、神仏あるいは創造主によって作られた世界であり、その作られた自然から与えられる恩恵によって人は生かされていること、またその恩恵は人々の善意によって表れ、その心と行為によって生活が成り立ち、その結果自然や人の心は人間の意思では自由に動かすことができないという心、すなわち信仰心とされています。

この信仰心が高まっていくことで、神仏や創造主の存在が明確になり、自分にとってふさわしい神や仏に出会い、信じていく心と行動がともなってきます。これこそが宗教との出会いにつながります。それは、他人から強要されることなく、さまざまな出会いから自ら求めていくものであります。

このような、信仰心から自分にとってふさわしい宗教との出会いのように、信仰奨励章の取得が宗教章の取り組みにつながっていくような過程をたどることができれば、信仰奨励章設置の願いにつながるものであります。

2. 信仰奨励章の記章

信仰奨励章は、「信仰心を高めるため」に設置された章であり、自分にふさわしい宗教の出会いまでの前段階とする位置づけであります。このような願いから、記章には教宗派のかたよりのないスカウト精神にもとづいたものとしてスカウト章を図柄とし、ボーイスカウト部門を基準に置いていることから帽章の色と合わせて金色としています。また背景は、大自然をイメージとして緑としました。

様式・図柄	寸法	地色	着用部位その他
	4×1.5 cm	緑	左胸ポケット、 年功章の上方に着用。

(着用部位については、年功章の上部とし、プロジェクトアワードに並列の場合には、一番内側に縫い着ける。)

3. 信仰奨励章取得への取り組み

信仰奨励章は、前項でも述べたように、特定の教宗派について取り扱うものではありません。

日本連盟教育規定の一般原則に「スカウトオウンは加盟員各自の信仰心を高揚するために行われ、それはちかいとおきての実践をより深めるものである」とあるように、スカウトオウンの取り組みを重視しながら、ちかいとおきての実践をより深めるためにも、日常とスカウト活動を通じて、信仰心への導きを行うことをうながす必要があります。

以上の意味から、信仰奨励章は宗教章の前段階と位置づけ、また特別な知識がなくても日頃からスカウトと接する機会が多い、所属隊の隊長が認証します。そのためにも、成人指導者自らが、率先して信仰奨励章の取得科目を実践する必要性があり、実践すればするほど、信仰奨励章の意味するところを明確にすることができるのです。

このように、信仰奨励章の意味するところを踏まえると、宗教章に挑戦する以前に取得することが望ましく、また継続した取り組みとしていくためにも、初級スカウトから取得できるようにしました。すべての隊のスカウトが、スカウト活動の早い段階からこの章に取り組むことを期待しています。

4. 取得課目

次の取得課目を満たしたことを隊長により認証します。

1. 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。
2. 隊集会やキャンピング・ハイキングでスカウトオウンに参加する。
3. スカウトオウンで、自分ができる役割を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、感じたことを発表する。
4. 隊集会やキャンピング・ハイキングでのスカウトオウンで主要な役割を果たす。
5. 「アンノンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇、紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日日の善行」の実践のようすについて話す。
6. 班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。
(ターゲットバッジ「近隣奉仕」5と共通)
7. 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトオウンに参加する。
8. 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。
9. B-P 卿のラストメッセージを読んで、班集会で話し合う。

(ターゲットバッジ「B-P」6と共通)

5. 支援のポイントとねらい

取得課目のねらいは、スカウトオウンの取り組みから始まり、実践的な内容へとつなげ、最終的には明確な宗教に触れるところまでを構成していますので、番号順に取り組むことが望ましいと考えられます。詳しくは、スカウティング誌4月号から5回にわたって連載しておりますので、是非、ご覧ください。

以 上